

草加市
みんなでまちづくり
自治基本条例
のことが分かる



みんなで
まちづくり

副 読 本

Vol.3



企画・編集

草加市協働のひろば運営会議

身近な公園から
まちづくりを
考えてみよう



クイズ 1～5の公園、それぞれ どこにある公園でしょう？

第1問 【ヒント】大きなふん水が特ちょうの公園。スケートボードができる場所もあるよ。また災害時にも活用できるように、たくさんの工夫があるよ。

答えはうら表紙▶

草加のまちには
すてきな公園が
いっぱいありますね
みなさんの家のまわりは
どうですか？

ふん水がある公園を見に
行ったんだ！
すごかったよ！

知ってる～
春の子どもフェスタとか
ふささら祭りも
やってるよ

災害のときには、
ヘリコプターが
着陸できるんだって

フサコさん

ダイキくん

モモさん

ユイくん

もくじ

身近な公園からまちづくりを考えてみよう

写真の公園、
どこにある公園でしょう？ p.2

公園をつくるとしたら
どんな公園が欲しい？ p.4

たいへんだ！
みんなの意見が違^{ちが}う p.5

みんなが
行きたくなる公園って？ p.6

市民が意見を出し合っ
てできた公園・緑道 p.7

まちづくりって何？

まちづくりって
何だろう？ p.8

まちづくりグループの
活動紹介 p.10

みんなの力で
まちを変える p.12

だれもが幸せな
まちをつくる p.13

アクションを起こす

まちづくりアクション
ワークシート p.14



第2問 【ヒント】 大小の岩が池に流れる川をかたどっていて、桜をはじめ、季節の花がきれいな公園。遊具はないけど、たまにはゆっくりと季節を感じてみては？



第3問 【ヒント】 みんなから「どうぶつ公園」と呼ばれているよ。カバやゾウやラクダなど動物たちがお出迎えしてくれる、大きな樹木のある公園。



第4問 【ヒント】 草加市で一番標高の高い地点もある公園。林をイメージしたという遊具広場にはローラー滑^{すべ}り台やターザンロープなど楽しい遊具がいっぱいあるよ。



第5問 【ヒント】 雨の日でも、日差し強い日でも遊べる公園。ちょっと意外なところにあるよ。写真の木製遊具には、冒険心をくすぐられるね。



公園をつくるとしたら どんな公園が欲しい？

サッカーが
できる公園！

どろんこ遊び
最高！

木登りも
やってみたいな～

うわ～楽しそう
でも公園を利用するのは
子どもだけじゃないよね
まちの人にも
聞いてみよう

小さい子でも
安心して遊べる
遊具が欲しいな

子どもに
思いっきり
水遊びをさせたいな

スケートボード
オリンピック種目に
なったからね



水場や
シャワーも
あるといいな

季節が
感じられる公園
ゆったり歩いて
「ここで一句！」なんて

日よけがあって
ベンチに座れると
いいよね

地域の
いろんな世代が
交流できるイベント
会場がほしいな

たいへんだ！ みんなの意見が違う

たいへんだ
いろんな意見が
出てきたぞ

公園って
遊ぶだけじゃ
ないんだね…

利用する人の
年齢によっても
いろいろね

よいこと
ばかりじゃなくて
心配なことも
あるかも
しれないね



木が多いと
枯れ葉が散って
毎日、掃除が
たいへんだよ～

ボール遊びは禁止！
小さい子には
危ないからね

たまり場になるのが心配
トイレが壊されたり
さわいだり
迷惑になってる

不審者が心配
危険な場所を
なくして欲しいわ

ごみを
捨てていく
人もいるよ



心配なことも
いっぱいあるね

でも、危ないからって
ぜんぶ禁止にしたら
つまらない公園に
なっちゃうなあ



みんなが行きたくなる 公園って？



小さな子どものいる家族も
おじいちゃんも、おばあちゃんも
若い人たちも、障がいのある人も、
だれも行きたくなる公園って
どんな公園なのかな？

大人が遊びの
リーダーをすれば
楽しいし
安心できるね

みんなが楽しめる
遊びを持ち寄って
おまつりなんかも
できるといいよね



映画会なんかもあれば
夜も楽しいよ

ごみの
持ち帰りは
市民のマナーだね

草刈りとかお掃除とか、
自分たちで
公園に手をかければ
親しみがもてるかもね



いつ行っても
仲間がいっぱいいれば
楽しいよね

草加のまちには
みんなが意見を出して
つくった公園や緑道が
あります
7ページの公園や緑道が
その例です



へえ～
キャッチボールや
水遊びができる
公園もあるの？

行ってみた～い



市民が意見を出し合っ てきた公園・緑道の例

瀬崎蒲原公園

みんなが声を出し合っ て整備しました

以前は、利用する人が少ない公園でした。みんなに親しまれる公園にしようと、地域の人達が集まって相談し、「みんなでまちづくり会議※」に提案しました。

遊具は、公園の一か所にまとまっていて目が見えやすく安心して遊べます。地域の歴史とともに成長してきたサクラやケヤキなどが繁っていて、緑がいっぱい。公園の外周の一部にボール遊び用のフェンスもありますがバットでの打撃などは禁止になっています。子どもから高齢者まで誰もが安心して楽しめる公園をめざしています。

※「みんなでまちづくり会議」は、草加市みんなでまちづくり自治基本条例に基づいて、まちづくり計画を提案することができる場です。



▲春には藤の香りが運ばれて、葉が木陰を作る



▲すべり台など楽しめる遊具がいっぱい



◀シンボルとしてそびえ立つ大きなケヤキの木

瀬崎ふれあい通り親水緑道

じゃぶじゃぶ 水遊びができる緑道

昔は、「まえ堀」と呼ばれ、ドジョウなどがとれた用水路でした。田んぼがなくなってからは、荒れて悪臭がありました。何とかしたいと地域の人達が相談して、「みんなでまちづくり会議※」に「ふれあい通り親水緑道計画」を提案しました。

緑道に整備されてからは、昔よりも、もっと楽しめる場所にしようと、草加市と市民が協力してごみをなくしたり、季節の花を植えたりしてきれいにしています。緑道内には、じゃぶじゃぶ池という水遊びができる所や休けいできるベンチがあり、憩いの場所になっています。平成25年度には草加市のまちなみ景観賞を受賞しました。



▲年間を通してアイリス等の草花が楽しめる



▲井戸水を利用したせせらぎを楽しめる



◀水飲み場とふん水のあるじゃぶじゃぶ池

まちづくりって 何だろう？



公園や道路をつくることだけがまちづくりではありません。まちを住み良くする取組のすべてがまちづくりなんです。ここに紹介する例のほかにも、みんなにできる身近なことがいっぱいありますよ。



産業

メイドイン草加の製品や名産をみんなで応援しよう！
ところで草加市の名産って何があるか知ってる？



健康



健康第一！
栄養バランスのとれた食事、体力づくり、病気の予防が健康のかなめです。

福祉

下のマークは何のマークでしょう？
体の弱い高齢者や障がい者、妊娠中の女の人を表すマークです。どうしてマークが必要なのか、このマークを見かけたらどう行動すればいいかを調べて、考えてみましょう。



何のマークか調べてみよう！

マーク名はうら表紙▶

かんきょう 環境

まちがきれいだと気持ちがいいね。清掃活動やみどりを大切にする活動など、できることがあるかも。
資源を大切にしたり、リサイクルしたり、地球規模の環境も身近なことから。



学校



学校生活がどうすればもっと楽しくなるでしょう？ どうすればいじめがなくなる？
まちづくりは身近な困りごとの解決から。みんなで考えよう。

安全

車の交通量が多い道、人通りが少なくてさびしい道、猛スピードで通りすぎる自転車…。まちの中にある危険を見つける力をつけるのも、大切なね。



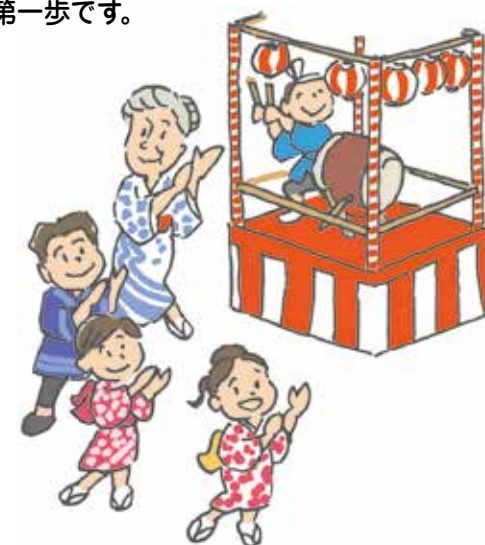
防災

地震や台風の災害時に一番大切なのは、まず自分の命を守ること。いつどこで災害にあっても自分の命を守れるように、「今起きたらどうするか」を考えましょう。
また、ご近所同士の助け合いが欠かせません。



地域

地域とのつながりはまちづくりの基本。お祭りや運動会など、地域の行事に参加してみよう。ご近所さんと顔見知りになることもまちを知る第一歩です。



まちづくりグループの活動紹介



へえ～
色々な活動があるんだ

■NPO法人 うるおい工房村

うるおい心、集まれ！

獨協大学通りと、栄町1丁目付近を流れる伝右川兩岸に、夏になるといっせいにひまわりが咲き誇るのを皆さんは見たことはありますか？ 私たち「NPO法人うるおい工房村」の会員が中心となって平成24年（2012年）から毎年栽培しています。このひまわりの種は、東日本大震災で被災した福島から受け取り、収穫した種をお返りする「福島ひまわり里親プロジェクト」として復興に生かされています。

うるおい工房村では、ひまわりの他にも、春はそうか桜、秋はパンジー、サルビアなどと、地域住民の人たちに年間を通して四季折々の花を楽しんでもらえるように、伝右川遊歩道での植栽に取り組んでいます。「うるおい心」で草加をよくしたいと思う人であれば、どなたでも参加することができます。



▲獨協大学通りでひときわ目を引くひまわり



▲「うるおい心」をもった仲間が作業に取り組んでいます



▲近くの保育園児のお散歩コースになっています

■三世代交流ふらここ

ほっと和むみんなの家

お世話になった地域のためにと、亡き義母の自宅を開放して、平成20年（2008年）10月から三世代が集まる場「ふらここ」の活動が始まりました。これまでの11年間の活動で、延べ3,000人あまりの人たちに愛されて来ました。

保育園や小・中学生の着物の着付け、茶会、ひな祭り会、七夕祭りなど、季節の行事や伝統食といった昔ながらの生活の知恵を学び合う活動をしています。メンバー18名が、それぞれ経験や得意技を持ち寄ります。

地域で子育て中の親子を応援する輪を広げ、また高年者にとっても子育ての先輩として、生きがいをもって共に歩み、育めるようにこれからも自分たちでできる活動を続けていきたいと思ひます。



▲ミニ茶会に初めて参加しました



▲七夕かざり



▲初めての茶道体験

■春の子どもフェスタ実行委員会

自分たちで考えて 自分たちで作るお祭り

お祭りを自分たちで作ったことはありますか？

春の子どもフェスタは、子どもたちが実行委員会メンバーになって自ら企画するお祭りです。「自分たちがやりたい事」「興味がある事」「将来の夢」などからどんなお祭りにしたいのか、みんなで真剣に話し合っ、まづば綾瀬川公園（旧左岸広場）を子どもたちの夢でいっぱいにします。

第20回を迎えた平成31年（2019年）は「大志をつかもう！～私の一歩・私の背中～」をテーマに、あこがれの職業・食・スポーツ・ダンス・環境問題について遊びながら学べるブースがたくさん出そろいました。お祭りに参加した子どもたちからも「楽しかった」「いろいろ学べた」など、多くのうれしい声がい！

春の子どもフェスタに、みんな集まれ！！



▲草加青年会議所はサポート役、子どもたちが主役の「春の子どもフェスタ実行委員会」



▲パビリくんバスもやってきた



▶子ども実行委員会メンバーを募集するチラシ

■草加松原太鼓橋ロードレース大会実行委員会

草加のまちを楽しみながら みんなでラン！

草加のまちの魅力に触れながら楽しく走れる「草加松原太鼓橋ロードレース大会」は、平成24年（2012年）から毎年3月に開催されています。草加小学校をスタート・ゴールとし、歴史的街並みを残す旧日光街道を抜け、国指定名勝・草加松原を走り、矢立橋と百代橋の2つの太鼓橋を渡るコースです。種目は4つ。草加松原の松並木を10キロ走る『松並木』、思い思いのコスチュームで走る『仮装』のほか、小学3～6年生が対象の『草加宿』、小学2年生以下が保護者と走る『親子』の種目もあります。

沿道の商店街も参加者への食事やドリンクの割引サービスなどで応援。勝ち負けよりも、参加者と応援する人、地域が一体となって楽しめるランニングイベントをめざしています。



▲宿場町の1.2キロを親子が一緒に走る『親子』の種目



▲太鼓橋を渡るランナー



▶『仮装』に出場したランナーのみなさん

みんなの力で まちを変える

草加市では、市民がまちづくりの主役になれるようにルールをつくりました。平成16年（2004年）にスタートした「草加市みんなでまちづくり自治基本条例」です。

市民と市の職員、もちろん市長も市議会議員も、みんなで協力し合っ
てまちづくりに取り組んでいます。



草加市 みんなでまちづくり 自治基本条例※

※条例とは
市町村、県などの自治体が
独自に決められるまちの
ルールです。自治体におい
て法律と同じ役割を果たし
ます。



市民

どうすれば
もっと住み良いまちに
なるか、みんなで
考えよう！



市長と市の職員



まちづくりの専門家



市議会議員



もちろん！
まちづくりは草加に住む人
みんなのもの。積極的に
関わってほしいな

大人になっても
続けていかなくてはね

わたしたち小学生でも
まちづくりに
参加できるの？

ほくたちにできること
あるかな



だれもが幸せな まちをつくる

この条例がめざす目標の、
「だれもが幸せ」ってどうい
うことだろう？

自分だけが良くて
だめってことだね

高齢者もうれしいこと
障がい者も楽しいこと
若い人が元気になること
だよな

みんなからも
意見を聞かなくちゃ



自治基本条例で 何ができるの？

この条例の特ちょうは、市民がまち
づくりの計画段階から市政に参画
して、発言したり提案したりでき
るようになったことです。
仲間づくりのしくみができ、草加市
が市民のまちづくり活動を応援す
るしくみもできました。

くらしの中で困っていることを解決
して、草加のまちを素敵なまちに
変えることができるかもしれない
ね。



市民が草加市に
まちづくりについて
提案ができる

まちづくりの仲間と
つながるしくみが
できた

まちづくりの活動を
草加市が応援する
しくみができた

アクションを起こす

まちづくりアクション ワークシート

自分たちのまちをもっと住み良くするアイデアを考えるワークシートです。8～9ページを見て、興味をもったことについて自分たちにできることや、まちづくりの提案を考えよう。



1

まちの気になる場所や改善したいと感じることを思いつくだけあげてみよう。

いつもの通学路、公園、学校、商店街、お祭り…草加のまちを思い浮かべながら考えてみましょう。



2

1の気になることの中でもっとも改善したいことはどれですか？

3

そのことで困っている人はだれ？改善されるとよろこぶのはどんな人？理由もあげてみよう。



できるだけ、いろいろな立場の人になりきって考えてみましょう。

4

2の気になることについて、「こうだったらいいのに」と思う理想のすがたを想像してことばや絵にしてみよう。

5

4のように住み良くするためにどうすればいいか、アイデアを出してみよう。自分一人でもできることは？ みんなと協力することが必要なことは？



グループで話し合ってアイデアを出し合えば、もっといいアイデアに発展するかもしれません。

保護者や学校の先生、地域のみなさん、草加市で働くみなさんへ

わがまちを住みやすくする 自治基本条例

「草加お宝かるた」より

平成16年10月1日施行



草加市のまちづくりの目標は、みんなが協力して「だれもが幸せなまち」をつくることです。

この副読本は、その目標を実現するために制定された「草加市みんなでまちづくり自治基本条例」を子どもたち（主に小学校6年生）に伝え、理解してもらうためにつくりました。まちづくりは、市民、市議会、市（市長をはじめとする市の職員のみなさん）が、それぞれ役割を担いながら、協力しあうことです。

市民の一員である子どもたちが、それぞれの発達段階に応じて、草加市に関心を持ち、まちづくりに向けた提案をすることは、とても大切なことだと思います。大人をはじめ、市議会や市のみなさんは、子どもたちの提案に耳を傾け、どうすれば「だれもが幸せなまち」をつくることができるかを、ともに考え行動してくださることを期待します。そういう体験をした子どもたちは、大人になってから地域やそのほかのあらゆる課題の解決に向けてともに考え主体的に行動するようになるでしょう。仮に草加市を離れたとしても、自分の大切なふるさととして草加市を誇るようになるでしょう。

私たち、市民活動センター協働のひろば運営会議は、このような願いのもとにこの副読本を作りました。

草加市みんなでまちづくり自治基本条例（前文）

（平成16年6月18日条例第23号）

私たち草加市民は、このまちと人を愛し、デモクラシーの精神にのっとり、このまちが「市民の市民による市民のため」の存在であることを自覚し、すべての市民の自由と平等と公正を保障する「だれもが幸せなまち」をつくります。

市民、市議会、市が市民自治を原則として、それぞれが主体的に次代をも見据えたまちづくりを行うため、ここに草加市みんなでまちづくり自治基本条例を制定します。

草加市みんなでまちづくり自治基本条例 みんなでまちづくり副読本 Vol.3

■初版発行 平成29年（2017年）10月

■第3版発行 令和元年（2019年）10月

■企画・編集 草加市協働のひろば運営会議

■発行 草加市市民活動センター

電話：048-920-3580

住所：〒340-0023 草加市谷塚町752番地

メール：simin-katudo@city.soka.saitama.jp

クイズの答え

P. 2、3

- ① まつばら綾瀬川公園（松江）
あやせがわ まつえ
- ② 青柳公園（青柳）
あおやなぎ
- ③ 稲荷公園（稲荷）
いなり
- ④ そうか公園（柿木町）
かきのき
- ⑤ 谷塚高架下公園（谷塚町）
やつかこうかした やつか

P. 8

- A 身体障害者マーク
- B 耳マーク
- C ヘルプマーク
- D 障害者のための国際シンボルマーク
- E マタニティマーク